

第26回 千葉県母性衛生学会 シンポジウム  
千葉県における周産期医療を担う人材確保のための取り組み  
と今後の展望

助産師教育の現状から周産期医療を担う  
人材確保の今後のあり方

遠藤俊子(日本看護協会助産師職能理事)  
(山梨大学大学院医学工学総合研究部)



# 助産師の量と質に影響を与える要因

- ①養成
- ②新卒時の教育支援(新人臨床研修)
- ③働き続けるキャリア育成とライフ・ワークバランス
- ④助産師らしい業務のあり方
- ⑤環境整備(リスクマネジメント、他職種との信頼・連携、処遇)



# 養成に関して

- 助産師学校・養成所数のうち大学の割合が増加
  - カリキュラムの諸問題の指摘
  - カリキュラムの評価を経験例数や実習総時間によって行っている
  - 卒後の長期間の継続的な評価がなかった
- 
- 産科医療ニーズと共に、助産師の存在の普及が起り、助産師への期待
  - 助産師の潜在化



# 平成19年国家試験合格者数

職種	合格者	大卒合格者
助産師	1,529名	549名 (35.9%) ε 大学院、大学専攻科含めていない
保健師	11,029名	9,717名 (88.1%)
看護師	46,000名	7,829名 (17.0%)

# 平成20年助産師国家試験の新卒合格者数

	平成20年3月			
	学校数	合格者 (新卒)	合格率	合格者全体 に占める 割合
大学院 (専門職大学院を含む)	3	38	100.0%	2.4%
大学専攻科・別科	4	53	100.0%	3.3%
大学助産師選択	81	663	96.2%	41.3%
短期大学専攻科	17	178	97.3%	11.1%
養成所	33	672	99.3%	41.9%
計	138	1,604	98.3%	

## 大学における助産師養成校の数と国家試験合格者数 (平成21年以降は推計)

	大学数	大学院	国家試験合格者数(大学)	入学年次	1校あたり平均学生数
H8	21				
H10	26				
H11	39		142		
H12	46		127		
H13	53		188		
H14	61		226	10	8.7
H15	69		261	11	6.7
H16	81	1	402	12	8.7
H17	86	3	448	13	8.5
H18	91	6	503	14	8.2
H19	97	8	549	15	
H20			663	16	
H21			754	17	
H22			810	18	

平成21年以降は推計値

# 助産師養成の促進について

(平成18年12月8日付け厚生労働省医制局看護課長通知)

助産師については、周産期医療分野における医療安全及び質の高い医療を提供する体制の確保を図る観点から、産科診療所における確保の必要性が指摘されており、これまで「助産師の養成について」(平成17年1月25日)および「病院・診療所に勤務する看護師を対象とした社会人入学枠の導入について」(平成17年4月28日)において、助産師養成所における定員数の増加及び入学者数の確保や病院・診療所に勤務する看護師を対象とした社会人入学枠の導入等をお願いするとともに厚生労働省としても、平成18年度には「助産師確保総合対策事業」を創設し、産科診療所における助産師確保のための施策に取り組んできたところである。

このような中、「新医師確保総合対策」(平成18年8月31日地域医療に関する関係省庁連絡会議)において、安心・安全な出産ができる周産期医療体制を確保するため、助産師を活用する体制の整備を進めることとしたところである。

また、近年、助産師養成所の受験倍率は他に比べて高くなっていることもあり、については、貴養成所におかれても、引き続き産科診療所における助産師確保のため、養成所の定員数の増加及び入学者数の確保、社会人入学枠の導入等に積極的に取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

# 大学・短期大学における助産師の養成の促進について

(平成18年12月26日 文部科学省高等教育局医学教育課事務連絡)

このことについて、平成17年2月4日付け事務連絡「大学・短期大学における助産師の養成について」においてお願いをしているところですが、厚生労働省医制局看護課長から別添のとおり通知がありましたので送付します。助産師教育における履修者の確保及び増加を図るよう、引き続きお願い申し上げます。



# 新人助産師臨床実践能力向上推進事業

2005年から開始(3年が経過)

母子の安全確保に向けた対策の充実

新人助産師に対して十分な教育体制(専任指導者等)と研修プログラムを有する医療機関における研修(60日間)

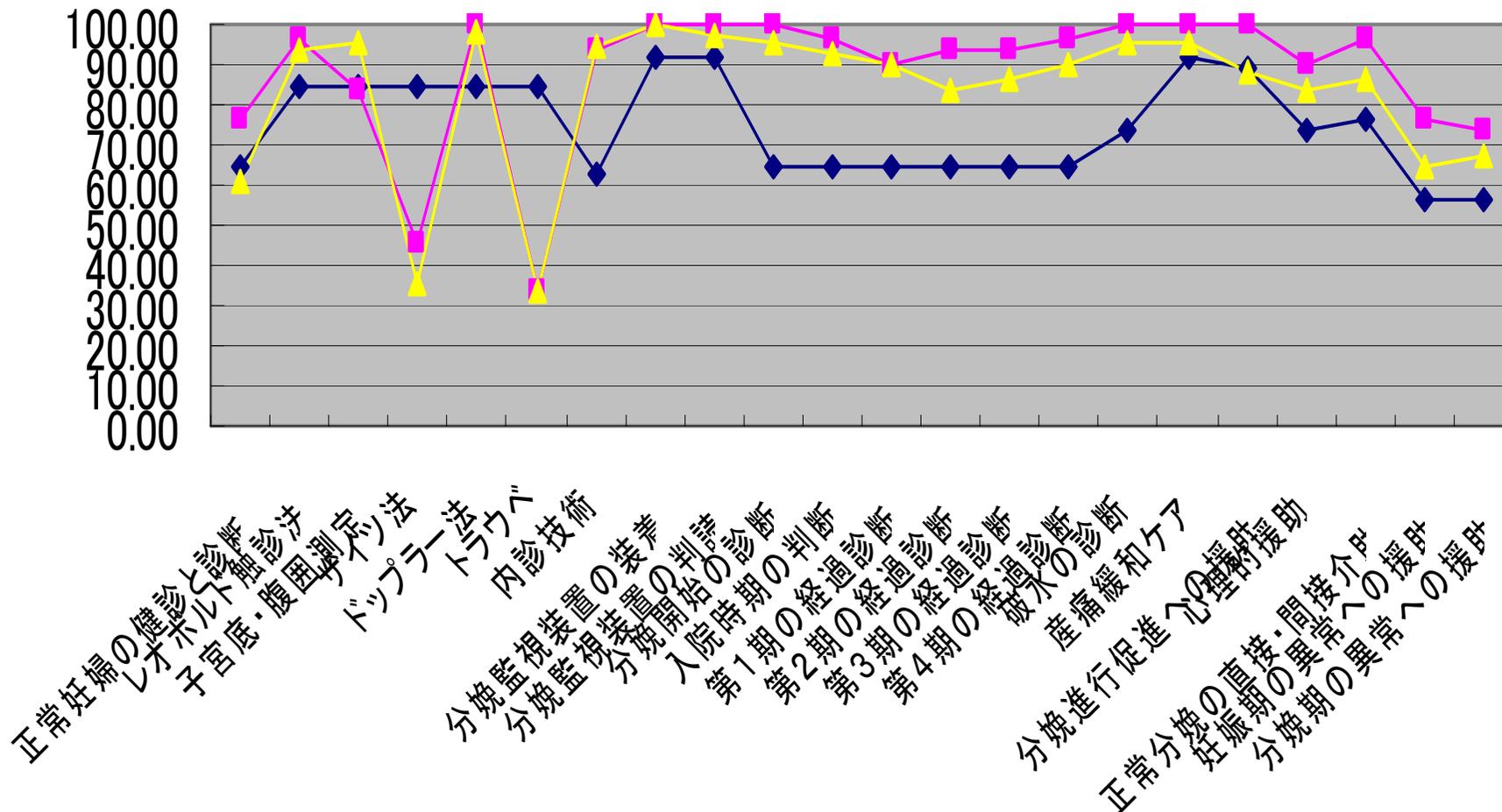
2005年17病院 97名

2006年 26病院 137名

2007年から新人助産師研修指導者育成事業の開始

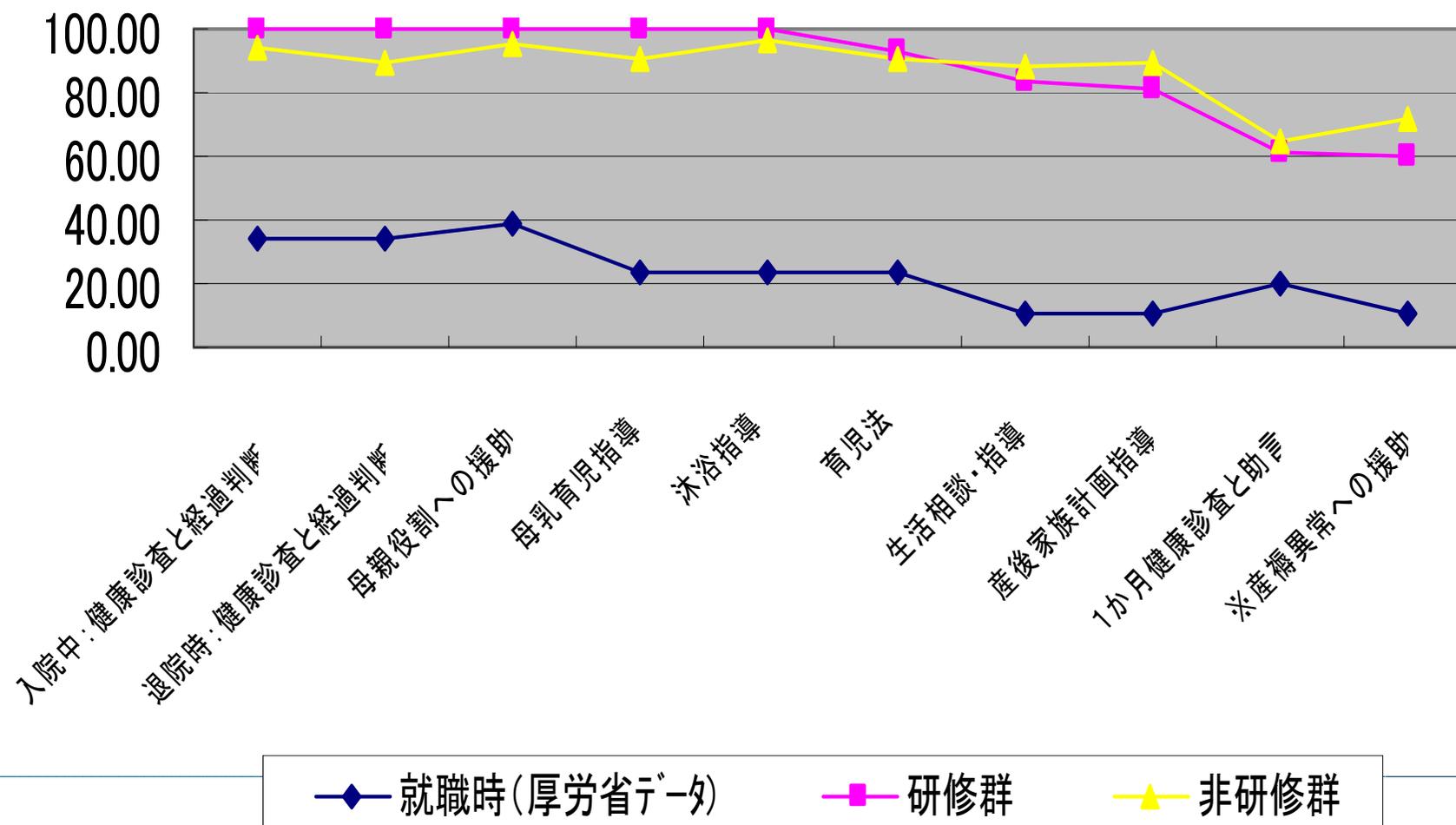


# 就職時と2年目の助産技術の変化(妊産婦)



◆ 就職時(厚労省データ)      ■ 研修群      ▲ 非研修群

## 就職時と2年目の助産技術の変化(褥婦)



専門職としてのキャリア形成  
モチベーション・職務満足

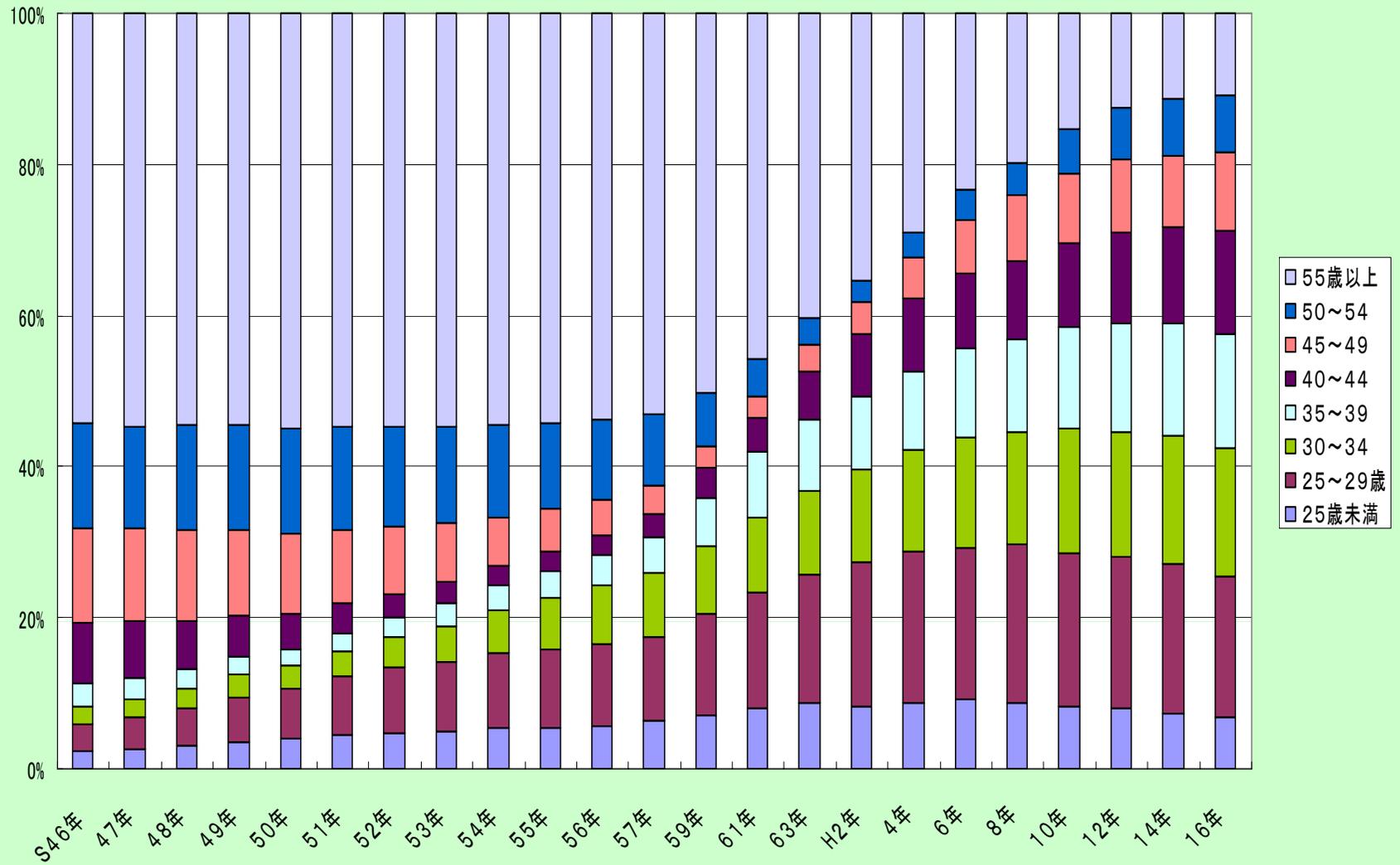


医療安全の確保  
他職種(医師)との関係

就労環境  
勤務時間、給与、休暇、子育て支援

助産師の定着を図る3要素





## 年次別就業助産師の年齢分布割合

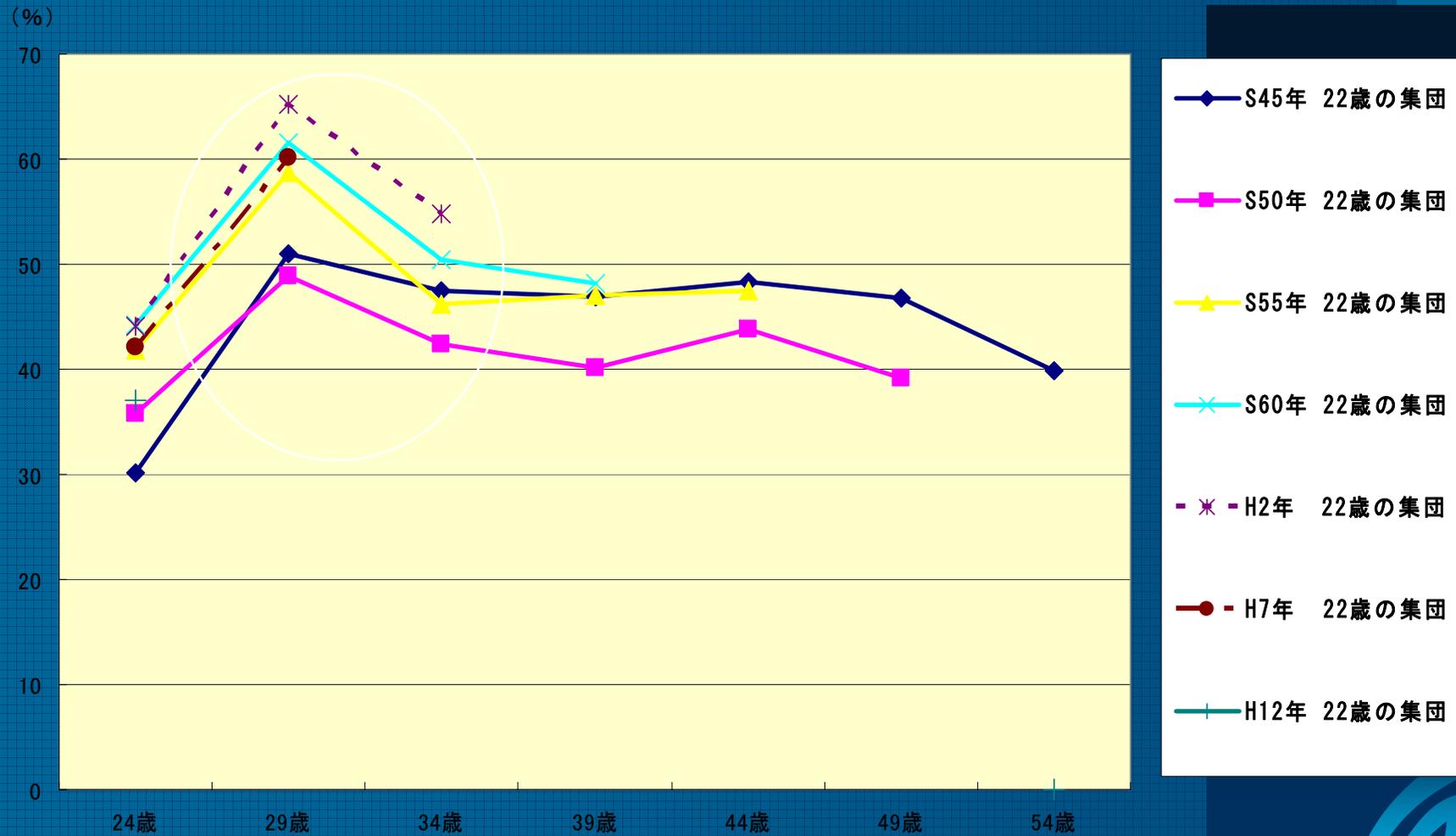
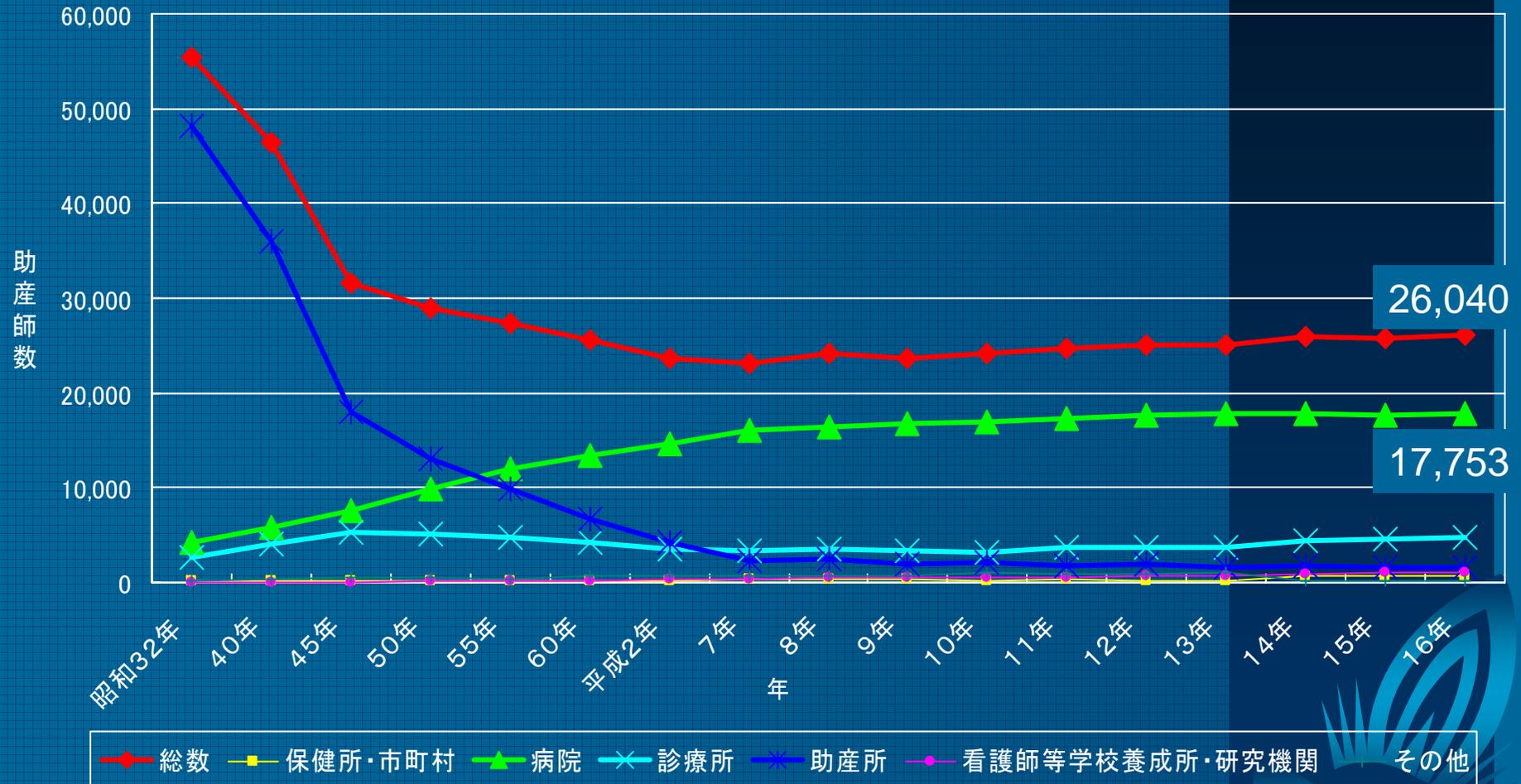


図3 当該年度の助産師国家試験合格者の経年的就業割合

# 助産師就業者数：7割が病院勤務



出典：第4回「医療安全の確保に向けた保健師助産師看護師法等のあり方に関する検討会」資料

注1)「病院」については、「病院報告」により計上した。

注2)「診療所」については、「医療施設調査」及び推計により計上した。

注3)「病院」、「診療所」以外については、「厚生省報告例」、「衛生行政報告例」及び推計により計上した。

(厚生労働省医政局看護課調べ)

# 表1 日本看護協会の助産師確保対策

## 1 助産師の確保定着の推進

- 学校・養成所における定員増や増設
- 働き続けるための労働条件改善や職場環境の整備
- 復職支援のためのナースバンク事業の充実強化に向けた提言など

## 2 医療機関の相互支援体制作り

- 地域の医療施設相互の支援体制作り
- 開業助産師との連携
- 助産師数の多い医療機関から確保困難な医療施設に対する派遣など

## 3 妊産婦及び家族のニーズに応じた安全で満足度の高いお産の実現のために

- 医療機関の医療提供体制及びサービス内容などに関する詳細な情報提供の推進
- 「助産師外来」や「院内助産師システム」の開設促進など

# 「安全で満足度の高い出産環境の実現に向けた助産センターの設置促進」

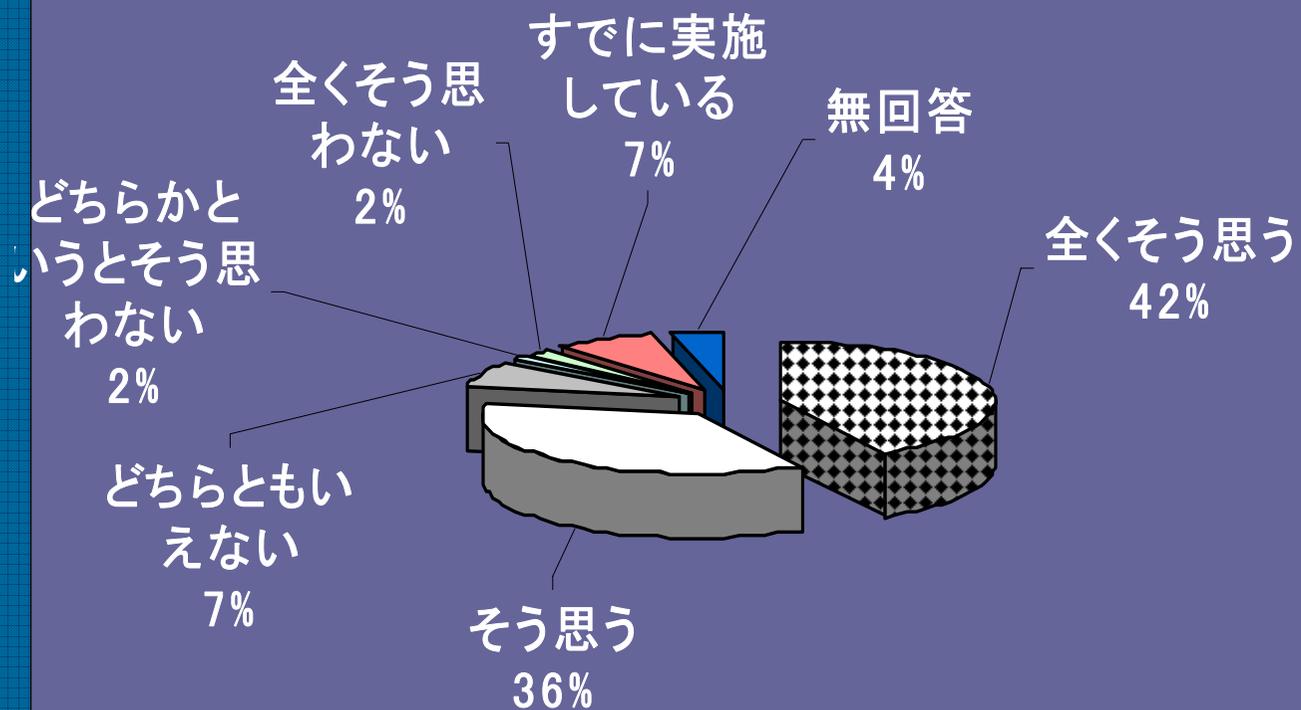
## ①地域の拠点病院における助産センターの設置促進

- ・様々なリスクの妊産婦が多く集まってくるため、妊婦健診や分娩・産後のケアについて助産師主導のケア提供を行う助産センターと、従来型のケア提供を行う産科病棟との2つの仕組みを設けリスク別の対応を行う。また助産センターではオープンシステム導入など、地域の助産師等と連携した継続的なケア提供にも取り組む。
- ・設置促進のために、先行事例の情報提供、助産師の必要数及び、求められる能力やスキルアップ支援に関する検討、体制整備のための政策提言などに取り組む。

## ②助産師外来・院内助産の普及と質向上の推進

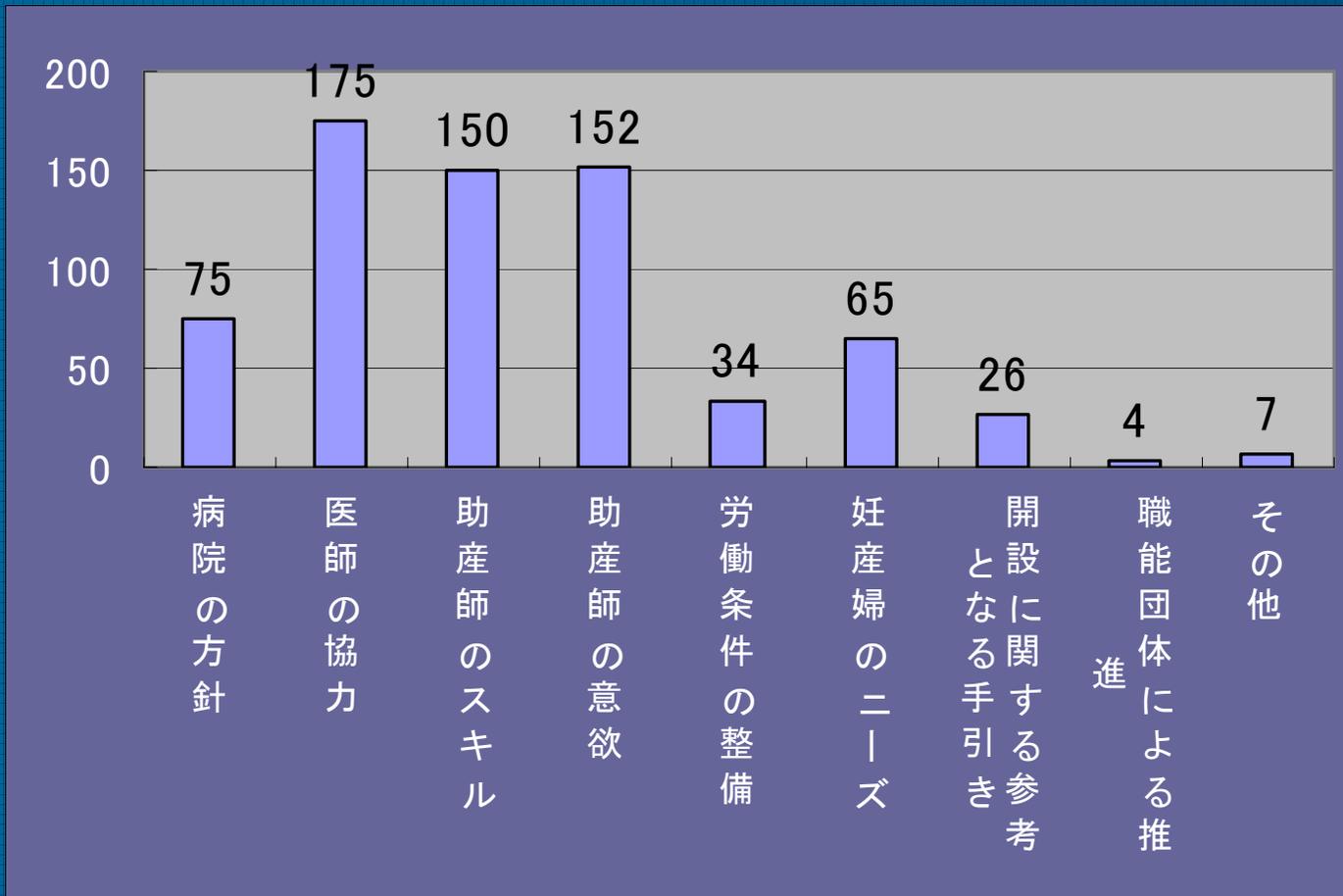
- ・平成20年度から、厚生労働省が助産師外来や院内助産の普及のため、開設等に係る財源措置が行われる。この契機に、地域で産科医療を担う病院やクリニックにおいて助産師外来・院内助産システムの普及・定着が進むように開設・運営に関する相談・支援をさらに充実して実施する。
- ・助産師外来の機能評価など、質向上に関する検討に取り組む。





機会があれば助産師外来に取り組みたいと思うか  
n=234





助産師外来を実施する上でのキーポイント  
(複数回答) n=234



# 平成20年度看護関係予算(助産師関係)

- 新人助産師に対する医療安全推進モデル研修事業 101百万円
- 助産師確保総合対策事業 126百万円
- 助産師確保地域ネットワークづくり推進事業 34百万円
- 院内助産所・助産師 外来設備整備
- 院内助産所・助産師外来開設のための医療機関  
管理者および助産師研修事業 33百万円

平成20年度から、生後4か月までの全戸訪問事業  
(こんにちは赤ちゃん事業)の推進



# 産婦人科医会の試算する助産師不足数

(日本産婦人科医会緊急調査 平成18年)

分娩取り扱い施設 病院1,247施設 診療所 1,658施設

助産師充足率71.7%(病院81.7% 診療所40.6%)

助産師数30%未満:病院8.0%、診療所63.5%

## 助産師の不足数

病 院 2,515名

診療所 4,203名

合 計 6,718名

---



## 表 第6次看護職員需給見通し(助産師)

	区分	H18	H19	H20	H21	H22
需給見通し	病院	18,900	19,300	19,500	19,700	19,900
	診療所	5,200	5,500	5,700	5,900	6,200
	助産所	1,800	1,800	1,700	1,700	1,700
	保健所・市町村	500	500	500	500	500
	教育機関	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	事業所、学校、その他	100	100	100	100	100
	小計	27,700	28,300	28,800	29,200	29,600
	供給見通し	年当初就業者数	25,400	26,000	26,700	27,400
	新卒就業者数	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
	再就業者数	1,700	1,800	1,800	1,900	1,800
	退職者数	-2,300	-2,400	-2,400	-2,500	-2,600
	小計	26,000	26,700	27,400	28,100	28,700
	受容と供給の差	1,700	1,600	1,400	1,100	1,000
	供給/需要	93.9%	94.3%	95.1%	96.2%	97.00%

注)四捨五入のため、各項目の数値の合計などは一致しない。

# 助産師一人当たりの分娩数

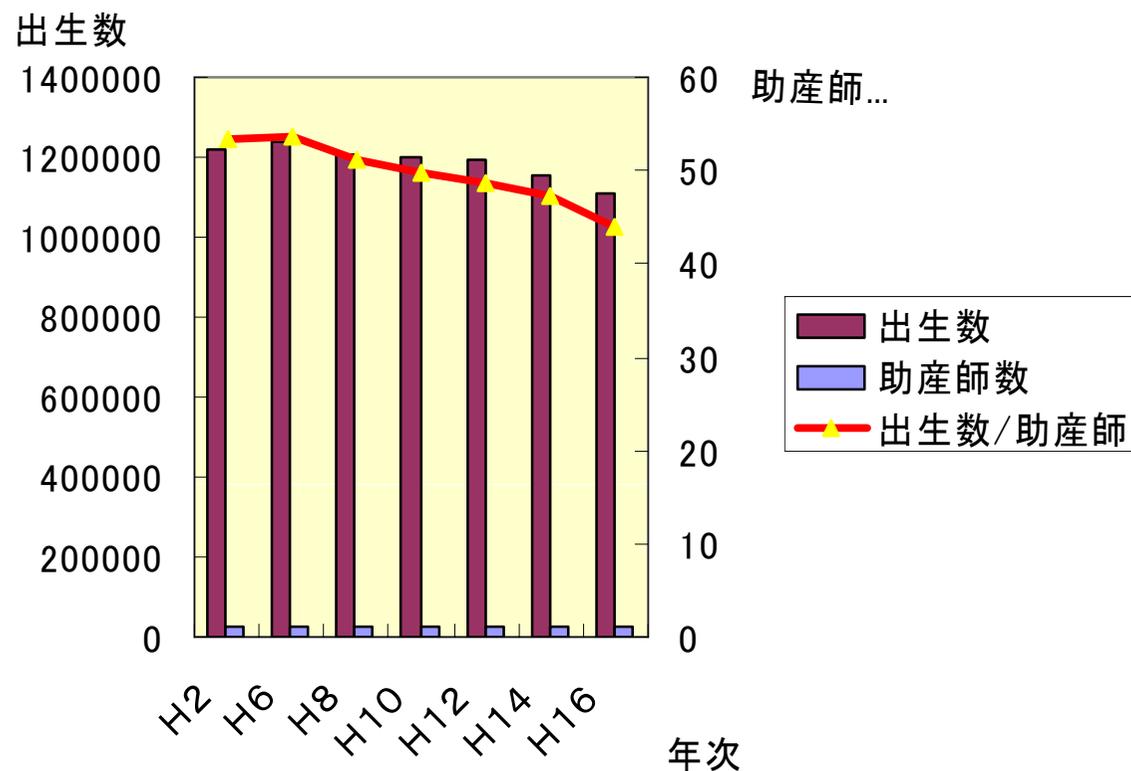
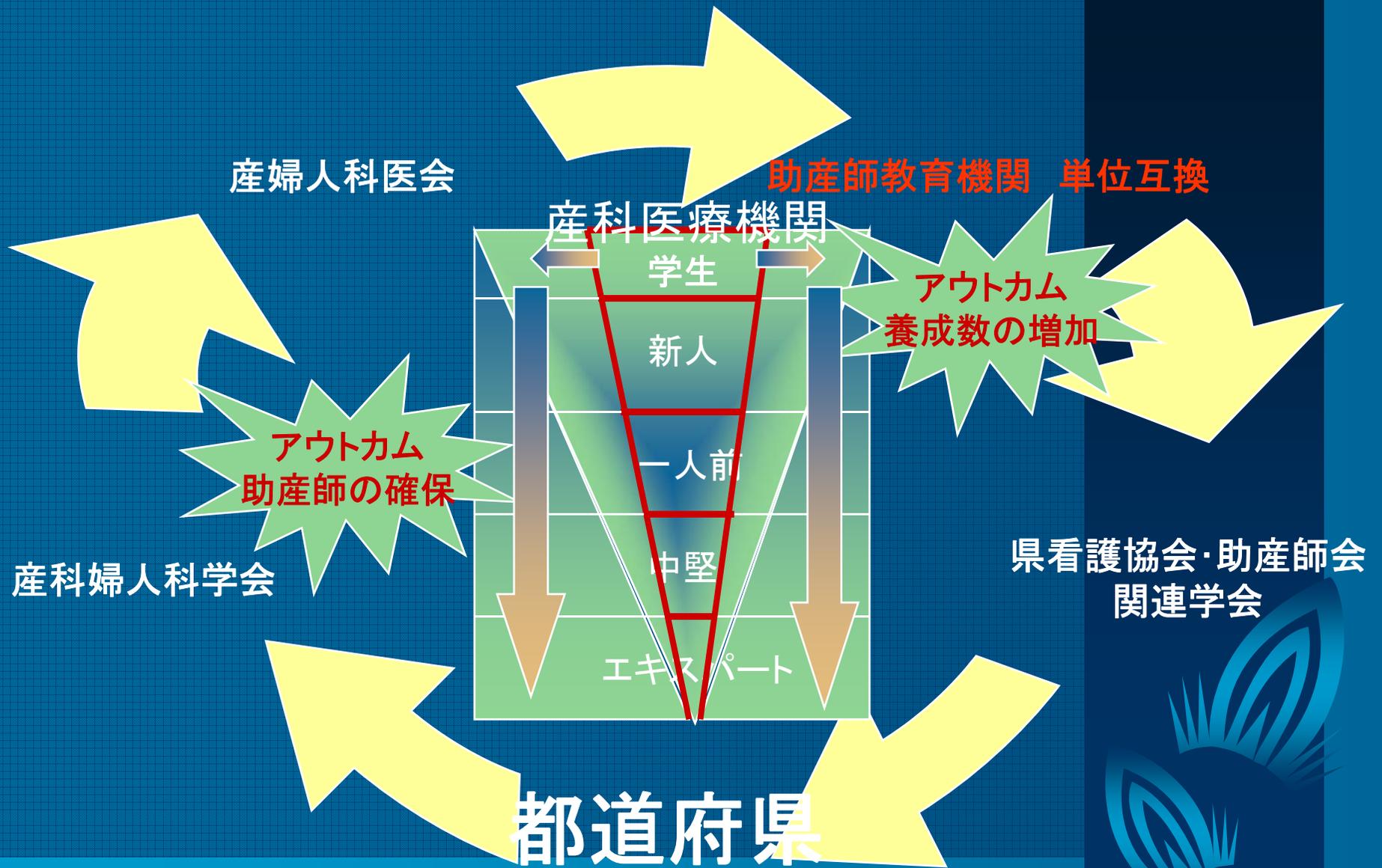


図5 助産師一人当たりの分娩件数

# 地域連携型 助産師教育プログラム創生 概念図



# 千葉県の周産期医療に明るい未来を



ご清聴ありがとうございました

